

I. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

(1) (2) 年に即位した後三条天皇は、長らく権勢をふるってきた藤原摂関家の力をおさえて国政の改革に取り組んだ。天皇は、<sup>(ア)</sup>延久の荘園整理令を出して基準に合わない荘園を停止するとともに、( a ) と呼ばれる公定枿を制定した。続く白河天皇も親政をおこなったが、やがて幼少の堀河天皇に譲位して院政を開始し、中小貴族や受領層を近臣に取り込む一方で、院の御所を警固する (3) (4) を創設するなど、権力の強化をはかった。12世紀半ばには皇位継承問題が絡んで政局は混乱するが、そこで勢力をのぼしたのが、後白河上皇の信任を得て太政大臣にまで昇りつめた平清盛であった。一族の多くが高位高官につくなか、清盛はさらに (5) (6) 天皇の外祖父として影響力を誇ったが、平氏の急速な台頭に対する反発は根強かった。藤原成親ら院の近臣が平氏打倒を企てた (7) (8) の陰謀は失敗に終わったが、1180年には源頼朝や源義仲ら諸国の武士が一斉に挙兵し、以後5年におよぶ源平の争乱の末、平氏は滅亡した。その間、東国の支配権を得た頼朝は、統治機構を整備しながら武家政権としての鎌倉幕府を確立していく。中央には侍所・公文所・問注所が設置され、問注所の初代執事 (9) (10) のような貴族出身者も登用された。各国には守護が一人ずつ配置され、さらに地方の支配を固めるべく鎮西奉行や奥州総奉行が置かれた。

頼朝の死後に勢力をのぼしたのは、妻政子の父北条時政である。時政は、2代将軍源頼家の妻の父である御家人 (11) (12) を滅ぼすと、頼家を廃して弟実朝を将軍に立てて実権を握った。その地位を受け継いだ北条義時は、侍所別当 (13) (14) を倒してさらに地歩を固めた。後鳥羽上皇との連携をはかった実朝が1219年に頼家の遺児 ( b ) に暗殺されると、朝廷と幕府の関係は悪化し、やがて承久の乱が勃発するが、幕府はこれに勝利し、統治機構をさらに整備していく。3代執権北条泰時は、<sup>(イ)</sup>有力な御家人など11名を評定衆に任命して合議制を採用し、泰時の孫北条時頼は、裁判の迅速化をはかるべく評定のもとに (15) (16) を設置した。しかし、13世紀後半から14世紀にかけて北条氏の支配は専制的な傾向を帯びるようになり、御家人たちは不満を募らせていった。

そうした情勢のもと、1318年に即位した後醍醐天皇は、朝廷の権力を強化すべく、やがて親政を開始し、ついには討幕を企てる。折しも、執権 (17) (18) のもとで実権を握った長崎高資の専横に対する不満が高まっている頃だった。1331年の (19) (20) の変などで討幕の計画は露見し、後醍醐天皇は (21) (22) に配流となるが、その後、皇子 (23) (24) や楠木正成らが蜂起し、さらに足利高氏 (のち尊氏) が六波羅探題を、新田義貞が鎌倉を攻略することで、鎌倉幕府は滅亡した。京都に戻った後醍醐天皇による建武の新政では、重要政務を司る記録所や、所領に関する訴訟を扱う ( c ) が中央に置かれ、地方には国司と守護が併置された。しかし、この新体制は武士の信頼を得ることができず、1335年、足利尊氏は (25) (26) の乱の鎮圧を名目に関東に下り、政権との対決姿勢を明確にする。その後、光明天皇を擁立した尊氏は京都に幕府を開くが、吉野で自らの正統性を主張し続けた後醍醐天皇との対立は続き、また、尊氏の執事 (27) (28) を中心とする新興勢力と尊氏の弟直義を中心とする伝統勢力が衝突した観応の擾乱もあって、政局が安定することはなかった。争乱が続くなか、幕府は、地方の武士を動員すべく守護の権限を拡大し、<sup>(ウ)</sup>荘園の年貢の半分を兵糧米として徴発する権限などを徐々に認めるようになった。

3代将軍足利義満の時代になると、室町幕府は安定期を迎える。京都の室町に建てられた壮麗な将軍邸は (29) (30) と呼ばれ、ここで政治をおこなった義満は、有力な守護大名の勢力を抑えつつ、1392年には南北朝の動乱に終止符を打った。幕府の機構も整備され、将軍を補佐して政務を統轄する (31) (32) には細川・斯波・畠山の3氏が交代で就任し、京都の警備などを司る侍所の長官は、四職といわれた赤松・ (33) (34) ・山名・京極の4氏から任命されることが多かった。( d ) と呼ばれる幕府の直轄軍も編成され、将軍の護衛にあたった。地方の統治機関として重視されたのは鎌倉府であり、その長官である鎌倉公方は (35) (36) の子孫によって世襲された。幕府の権威に陰りが見え始めるのは15世紀に入ってからである。強圧的な政治をおこなった6代将軍足利義教が播磨の守護 (37) (38) に謀殺された嘉吉の変を機に、将軍の権力は弱体化していった。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (37) (38) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 1053	12 1068	13 1086	14 赤松満祐	15 足利成氏
16 足利持氏	17 足利基氏	18 安德	19 伊豆	20 一条兼良
21 一の谷	22 一色	23 上杉憲実	24 恵美押勝	25 応天門
26 大内	27 大江広元	28 大友	29 隠岐	30 小野好古
31 梶原景時	32 管領	33 北畠親房	34 北山殿	35 慶安
36 元弘	37 高師直	38 西面の武士	39 佐渡	40 早良親王
41 鹿ヶ谷	42 承和	43 所司	44 清和	45 高倉
46 滝口の武士	47 富樫政親	48 土岐康行	49 中先代	50 花の御所
51 引付	52 比企能員	53 藤原信頼	54 北条高時	55 北条時房
56 北条時行	57 北面の武士	58 細川頼之	59 三浦泰村	60 三好長慶
61 三善康信	62 明德	63 目付	64 目代	65 以仁王
66 護良親王	67 柳の御所	68 結城氏朝	69 老中	70 和田義盛

問2 文中の空欄 ( a ) ～ ( d ) に入る最も適切な語句を解答用紙Bの所定の解答欄に漢字で書きなさい。

問3 以下の設問の解答を解答用紙Bの所定の解答欄に漢字で書きなさい。

- (1) 下線部(ア)について、この荘園整理令の実施にあたり、関連する証拠書類の審査のために設置された役所を何というか。
- (2) 下線部(イ)について、同じ頃に執権の補佐役として新設された役職を何というか。
- (3) 下線部(ウ)について、この権限を認めた法令を何というか。

## II. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

鎖国時代も西洋の国で唯一交流を続けてきたオランダと日本の関係についてみてみよう。

1600年、オランダ船 (39) (40) が豊後に漂着した。徳川家康は、その乗組員であったオランダ人 (ア) ヤン・ヨーステン とイギリス人ウィリアム・アダムズを江戸にまねいて外交・貿易の顧問とした。当時、スペイン人やポルトガル人と異なり、オランダ人は (41) (42) と呼ばれた。1609年、オランダは平戸に商館を開くことが許され、日本との貿易が始まった。その後貿易に制限が加えられ、1639年に幕府はポルトガル船の来航を禁止し、1641年にオランダ商館を出島に移し、長崎奉行のきびしい監視のもとにおいた。こうしていわゆる (イ) 鎖国 の状態となった。鎖国のなかにあつて、幕府は長崎を窓口としてヨーロッパの文物を輸入し、オランダ船の来航のたびに (43) (44) と呼ばれたオランダ商館長が提出するオランダ風説書によって海外の事情を知ることができた。1633年からオランダ人の ( a ) が制度化され、定期的におこなわれた。オランダ商館は、オランダが (45) (46) においた東インド会社の支店としての位置づけであった。

18世紀になると、幕府は漢訳洋書の輸入制限をゆるめ、青木昆陽や本草学者 (47) (48) らにオランダ語を学ばせた。大槻玄沢は『 ( b ) 』という蘭学の入門書を著し、江戸に私塾 ( c ) を開いて多くの門人を育て、稲村三伯は蘭日辞書である『 (49) (50) 』を著した。蘭学書によって西洋画法を習得した (51) (52) からその技法を学んだ秋田藩士の小田野直武は、『 (53) (54) 』の扉絵などを描いた。オランダ商館の医師であったドイツ人シーボルトが長崎郊外に鳴滝塾を開き、ここで陸奥国水沢出身の (55) (56) が学んだ。シーボルトはのちに帰国の際、 (57) (58) らから受け取った日本地図を持ち出そうとしたことから、国外追放処分となった。その後、日本からオランダへ留学する者も出てきて、そのなかの一人 (59) (60) は西洋法学書『泰西国法論』を翻訳した。

1808年、イギリス軍艦 (61) (62) がオランダ船を捕獲するために長崎に侵入する事件があり、長崎奉行 (63) (64) は責任をとって自刃した。欧米諸国のアジア進出が本格化するなか、清国はアヘン戦争でイギリスに敗れて (65) (66) を結び、香港を割譲することとなったことから、1844年オランダ国王が将軍 (67) (68) に開国を勧める親書を送ったが、幕府はそれを受入れなかった。この親書は、幕府の資料集である (69) (70) に残されている。ペリー来航後、ついに幕府は日米和親条約を結び、オランダとも和親条約を結んだ。その後、アメリカ総領事として来日したハリスの求めに応じ、 (ウ) 日米修好通商条約 を結んだのに続き、オランダを含む4カ国と同様の条約を結んだが、これが安政の五カ国条約である。なお、のちに暗殺されたオランダ人 (71) (72) がハリスの通訳を務めていた。長崎には、洋式軍艦の操作を学ばせるための海軍伝習所が設けられ、のちに、勝海舟らは幕府がオランダから購入した (73) (74) で太平洋横断に成功している。

第一次世界大戦後の1921年、海軍軍縮と太平洋および極東問題を審議するために開催されたワシントン会議に日本やオランダも参加し、他国とともに中国問題に関する (75) (76) を結んだ。1941年、日本軍の南部仏印進駐が開始され、オランダは、在米日本資産の凍結と対日石油の輸出禁止という強い制裁措置で対抗していたアメリカとともに対日経済封鎖を強化したが、これは ( d ) と呼ばれている。1942年、日本軍はオランダ領東インドを占領するに至った。第二次世界大戦後、オランダは、占領施策決定の最高機関

としてワシントンにおかれた (77) (78) のメンバーとなった。1951年、オランダを含む48カ国と日本とのあいだでサンフランシスコ平和条約が調印され、オランダとの関係が復活した。戦後処理がなされたものの、オランダ人捕虜問題をめぐってオランダ側に長らく反日感情が残っていたが、日蘭交流400周年を記念して、2000年に当時の天皇陛下がオランダを訪問された際には、女王の歓待を受けている。今後も両国の友好関係が続くことが望まれる。

問1 文中の空欄 (39) (40) ～ (77) (78) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- |           |           |          |            |             |
|-----------|-----------|----------|------------|-------------|
| 11 アユタヤ   | 12 安藤昌益   | 13 アンボイナ | 14 伊能忠敬    | 15 ヴェルサイユ条約 |
| 16 宇田川玄随  | 17 榎本武揚   | 18 萩原重秀  | 19 御触書天保集成 | 20 阿蘭陀本草和解  |
| 21 海国兵談   | 22 解体新書   | 23 華夷通商考 | 24 開陽丸     | 25 桂川甫周     |
| 26 加藤弘之   | 27 カピタン   | 28 観光丸   | 29 咸臨丸     | 30 九カ国条約    |
| 31 極東委員会  | 32 経世秘策   | 33 ケンペル  | 34 紅毛人     | 35 済物浦条約    |
| 36 采覧異言   | 37 サスケハナ号 | 38 佐野政言  | 39 山丹人     | 40 サン＝フェリペ号 |
| 41 四カ国条約  | 42 自然真営道  | 43 謝恩使   | 44 慎機論     | 45 大東亜会議    |
| 46 対日理事会  | 47 高野長英   | 48 高橋景保  | 49 高橋至時    | 50 通航一覽続輯   |
| 51 ツーラン   | 52 対馬丸    | 53 津田真道  | 54 ディアナ号   | 55 天津条約     |
| 56 唐人     | 57 東方会議   | 58 徳川家定  | 59 徳川家斉    | 60 徳川家茂     |
| 61 徳川家慶   | 62 中沢道二   | 63 長与専斎  | 64 南京条約    | 65 南蛮人      |
| 66 西周     | 67 野呂元丈   | 68 パードレ  | 69 バタヴィア   | 70 ハルマ和解    |
| 71 ヒュースケン | 72 平賀源内   | 73 広瀬淡窓  | 74 フェートン号  | 75 不戦条約     |
| 76 フルベッキ  | 77 北京条約   | 78 ポンペ   | 79 松平康英    | 80 マラッカ     |
| 81 モリソン号  | 82 山片蟠桃   | 83 山脇東洋  | 84 蘭学事始    | 85 リーフデ号    |

問2 文中の空欄 ( a ) ～ ( d ) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。  
なお、( a ) ～ ( c ) は漢字で書きなさい。

問3 以下の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

- (1) 下線部 (ア) について、ヤン＝ヨーステンが称した日本名を漢字で書きなさい。
- (2) 下線部 (イ) について、『日本誌』を和訳した際に、閉ざされた状態を鎖国と訳した元オランダ通詞は誰か、漢字で書きなさい。
- (3) 下線部 (ウ) について、この条約は、① 第4条および② 第6条の内容から不平等条約といわれる。どのような内容か①②それぞれ10字以内で書きなさい。

### Ⅲ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

2020年8月、首相の連続在職日数記録を達成した4日後に、安倍晋三首相は辞任表明をした。記者会見で、安倍政権のレガシーとはと問われ、それは歴史が判断していくものと語っていた。

第4次内閣までの安倍首相の通算在職日数は歴代内閣の中で最長で(3,188日)、2位は(ア)桂太郎首相である(2,886日)。桂内閣は欧米との初めての対等条約(79) (80)を結び、日露戦争を勝利に導いた後は、日米間での不平等条約を改善し、さらに桂園時代を築いて政局の安定化を図り、新党立憲同志会の宣言書を発表した。在職日数3位は、安倍晋三の大叔父、佐藤栄作である。彼は、1965年に(81) (82)を結んで、(83) (84)年に沖縄返還を実現し、加えて1971年に(85) (86)を設置する。

通算在職日数4位は伊藤博文である。1位から4位までが長州出身だったから長期政権たり得たわけではないだろうが、桂は長州出身の(87) (88)軍人であったため(89) (90)が築いた藩閥勢力の後ろ盾を持っていた側面はある。対して佐藤内閣の長期政権は安定した55年体制の時代にあった。

1951年9月、サンフランシスコ平和条約で主権を回復した日本は、日米安全保障条約も結んでいる。この方針を作ったのは日本の独立と経済復興を優先した(イ)吉田茂内閣である。第1次吉田内閣は、1946年に公職追放にあった(91) (92)党総裁鳩山一郎に、同党総裁の座を託されて成立している。1950年6月に勃発した朝鮮戦争の間、アメリカは日本に再軍備の要請をし、(ウ)吉田首相はアメリカに一定の譲歩を迫られるも、軽軍備の経済国家路線を貫く。一方、吉田に政権を託した鳩山の考えは、再軍備、憲法改正であった。1951年の公職追放解除後に政界復帰した鳩山は、1954年11月に(93) (94)党を結成し、吉田内閣を総辞職に追い込み同年12月に鳩山内閣を成立させる。

日本社会党は、1951年に左派・右派に分裂していたが、1955年2月の総選挙で両派合わせて3分の1の議席を獲得したことで、憲法改正の発議を阻止して、同年10月には左・右両派の統一を実現する。危機感を抱いた財界は、2派に分かれていた(エ)保守政党の統合を促し、両党は同年11月に自由民主党(以下、自民党)を結成して、ここに55年体制ができ、初代総裁として(95) (96)が選ばれる。

55年体制が揺らぐのは冷戦の終結と関係がある。1985年にソビエト連邦共産党書記長(97) (98)のペレストロイカが始まった。彼はアメリカと(99) (100)を結び、(101) (102)からの撤退に着手して、1989年12月には米・ソ両国首脳が(103) (104)で会談し、冷戦の終結を宣言した。

冷戦終結後、1993年8月、自民党が政権から外れた8党派連立の(105) (106)内閣の成立によって55年体制は崩壊する。この内閣では政治改革諸法案が成立し、それまでの(107) (108)から(109) (110)と比例代表制とを組み合わせさせた選挙制度へと変わった。次の(111) (112)内閣は、通算在職日数が歴代2番目に短い64日で終わっている(最短は1945年終戦直後の(113) (114)内閣54日)。ここで自民党が復帰し、日本社会党などとの連立政権が生まれ、(115) (116)首相が誕生する。この政権下で、日本社会党は安全保障に関する基本方針を転換し、首相は国会で自衛隊合憲などを表明している。

55年体制の成立から2020年まで、自民党が政権を離れていたのは、非自民8党派の時、および民主党政権下の(成立順に)(117) (118)内閣、(119) (120)内閣、(121) (122)内閣の約4年間のみでしかない。しかしこの間、政治を取り巻く環境も大きく変わった。その変化に大きな影響を与えたの

が、1994年に行われた選挙制度改革であった。

1994年政治改革のモデルとされた英国は、その選挙制度ゆえに党首に権限が集中する。日本では新しい選挙制度に適應する過程で民主党政権が誕生した。英国ではマニフェスト選挙が行われるために、日本でも2009年8月の総選挙で民主党が政権をとる直前にはそれがもてはやされた。そしてこの党のマニフェストには、(オ) ( a ) の県外移設、高速道路無料化、ダム建設中止など実現には困難なものが多かった。第二次世界大戦後の首相の通算在職日数が安倍、佐藤、吉田に次ぐ (123) (124) 内閣以降、7年連続で毎年首相が交代した混乱期の最後に成立するのが第2次安倍内閣であった。

安倍首相の長期政権のレガシーとして、将来、歴史は何をどのように評価するのであろうか。

問1 文中の空欄 (79) (80) ～ (123) (124) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- |               |           |           |              |           |
|---------------|-----------|-----------|--------------|-----------|
| 11 1968       | 12 1972   | 13 芦田均    | 14 アフガニスタン   | 15 犬養毅    |
| 16 エリツイン      | 17 大隈重信   | 18 海軍     | 19 核兵器拡散防止条約 |           |
| 20 核兵器禁止条約    | 21 環境庁    | 22 菅直人    | 23 クレタ島      | 24 グレナダ   |
| 25 小泉純一郎      | 26 国民民主   | 27 ゴルバチョフ | 28 幣原喜重郎     | 29 小選挙区制  |
| 30 消費者庁       | 31 鈴木茂三郎  | 32 大選挙区制  | 33 高橋是清      | 34 チェコ    |
| 35 中距離核戦力全廃条約 |           | 36 中選挙区制  | 37 日英同盟協約    | 38 日米行政協定 |
| 39 日露協商       | 40 日韓基本条約 | 41 日韓協約   | 42 日中平和友好条約  |           |
| 43 日本自由       | 44 日本民主   | 45 野田佳彦   | 46 羽田孜       | 47 鳩山一郎   |
| 48 鳩山由紀夫      | 49 東久邇宮稔彦 | 50 防衛庁    | 51 細川護熙      | 52 マルタ島   |
| 53 村山富市       | 54 山県有朋   | 55 ヤルタ    | 56 陸軍        | 57 立憲自由   |

問2 以下の設問の解答を解答用紙Bの所定の解答欄に漢字で書きなさい。

- (1) 下線部(ア)について、1901年に第1次桂内閣が成立する前の1899年、政党の影響力が官僚に及ぶのを防ぐために改正された法律名を書きなさい。
- (2) 下線部(イ)について、吉田茂と外務省同期で、オランダ公使、首相の任に就き、東京裁判(極東国際軍事裁判)で死刑判決となった唯一の文官の名前を書きなさい。
- (3) 下線部(ウ)について、ダグラス・マッカーサーの指示で1950年に作られた、後に自衛隊になっていく組織名を書きなさい。
- (4) 下線部(エ)について、1932年の五・一五事件で政党内閣が崩壊するまで、2つの保守政党が「憲政の常道」を担っていた。桂太郎が組織し、彼の死後結党をみた立憲同志会の流れをくみ、1927年成立、浜口雄幸を総裁とした政党名を書きなさい。
- (5) 下線部(オ)について、( a )に入る最も適当な語句を書きなさい。